

「なんかん大陶器まつり」出店者を募集します!!

南関町まつり実行委員会では、「なんかん古小代の里 陶器・梅まつり」の名前と開催場所を改め、新たに「なんかん大陶器まつり」として開催いたします。開催にあたって、農産品、特産品、飲食物等を販売される出店者を募集します。

- 開催日時 令和7年3月1日(土) 2日(日)
- 開催場所 南関町役場特設会場(南関町大字関町)
- ◆申込方法 申込書・出店料・印鑑を持参
- ◆申込期間 令和6年12月16日(月)から出店小間数に達し次第終了
- ◆受付時間 午前8時30分から午後5時00分まで(土日・祝日を除く)



- ※注意事項 ①申込書は、町ホームページ又は役場まちづくり課商工観光係に備え付けてあります。
②受付先着順です。出店料と印鑑をご持参ください。
なお、書類不備の場合は受付できません。
③申込みは最大で2小間までとなります。

問い合わせ先および申込先

南関町まつり実行委員会事務局(まちづくり課商工観光係) ☎57-8501

南関町の公用封筒に広告を入れてみませんか?

町では、経費の節減及び地域経済の活性化を図るため、広告入り封筒を無償で提供していただける事業者・団体を募集しています。

封筒の規格

【郵送用】

- ④角形2号(8枠) …………… 12,000枚
- ⑤窓あき長形3号(4枠) …… 60,000枚
- ⑥納付書用封筒(4枠) …… 6,500枚
- ⑦長形3号縦型(4枠) …… 17,000枚

【窓口用】

- ⑧角形2号(8枠) …………… 2,500枚
- ⑨角形5号(5枠) …………… 2,400枚
- ※クラフト封筒を使用、1色刷り

広告内容

- ・町の広告掲載基準に沿うもの。
- ・法律に反した内容や人道に反する内容でないもの。
- ・宗教・政治・経済・外交や社会問題などの主義・主張でないもの。

寄附までの流れ

- ①役場に申し出書を提出
 - ②寄贈協定書を締結
 - ③広告入り封筒を作成
 - ④完成した封筒を町に寄贈
- ※広告料は印刷業者が徴収します。

郵送用



窓口用



※参考として過去ご寄付頂いた封筒を掲載しています

問 総務課 管理契約係 ☎57-8500

住民と行政との意見交換会

令和6年度町政懇談会

町は、町政懇談会を10月15日(火)の第一校区を皮切りに10月18日(金)まで各校区で開催しました。今回は、佐藤町長が南関町の概要、南関町のまちづくり、南関町の企業、町政全般を説明し、担当課より、マイナ保険証について説明を行いました。その後、参加した住民の皆さんとの活発な意見交換を行いました。町は、町政懇談会で出た皆さんの声を、今後の町政に反映させることができるように努めていきたいと思っています。

◆主なご意見など(4校区)

意見・要望事項	件数
まちづくり関係(企業関係等、地域づくり活動奨励金等)	5
町道・河川工事について(工事の進捗状況等)	3
教育関係について(中学校の学力水準、通学路等)	3
農業担い手不足等について	3
圃場整備について	2
マイナンバーカードについて(保険証利用について等)	2
町の各施設について(交流センターのアクセス等)	2
うから館改修について	1
防災行政無線について(小学生下校時のアナウンス)	1
ふるさと総合検診の会場場所について	1
計	23

◆出席者数

校区	開催場所	人数
第1校区	役場敷地内 大会議室4	54
第2校区	ふれあい広場	29
第3校区	交流センター	29
第4校区	南町民センター	21
計		133

笑顔あふれるお祭り!

二小 秋祭り

10月23日(水)、南関第二小学校(古川浩美校長)で秋祭りが開催され、祭りを楽しむ児童のにぎやかな声が校舎に響きました。児童が秋を感じながら縦割り班で協力し、みんなで楽しく交流してもらえたらとPTAひまわり部、放課後子ども教室スタッフと企画や準備を進め、地域学校協働活動として実施。ヨーヨーすくい、輪投げやお菓子釣り、スライムづくり等を楽しみました。昔遊びでは、民生委員や地域婦人会の皆さんに教えてもらいながら、コマまわしやけん玉を体験していました。



▲輪投げを楽しむ児童たち

いざ、テイスティング!

こどもの丘保育園 食育授業

10月2日(水)、南関こどもの丘保育園(菅原 裕 園長)で食についての授業が行われ、年長児33人が南関町生活研究グループの片山カツ子さんと、普段の食事にどんな栄養が含まれているのか学習しました。授業では、片山さんが描いた野菜のイラストを見て何の野菜か当てるクイズを開催。園児たちは大きな声で「これだ!」と思う野菜の名前を言っていました。クイズの後は、先生たちが鰹節と昆布で作った特製の出汁を飲み、自分たちの舌で何の味が含まれているのかを考えました。「そうめんの味がした」、「苦手な味だけけど良い匂い」など、園児たちからは思い思いの感想が飛び出しました。



▲出汁を飲んだ園児の中にはおかわりをする子も。

美味しくなりますように

二小 稲刈り

10月22日(火)、南関第二小学校(古川浩美校長)の5年生が同校近くの水田で雨の中、稲刈りを体験しました。同校では、地域学習の一環として、稲作文化に親しみ、食べ物大切さを学んでもらうことなどを目的に5年生が農業を体験。今年6月に自分たちで植えて大きく育った稲を、地元農家の人に教わりながらのこ鎌を使って丁寧に刈り取っていました。稲を刈り終えた後は、天日干しに挑戦。自分の身長よりも高い場所に、背伸びをしながら頑張って稲を掛けていきました。



◀手際よく刈っていく児童



◀稲を天日干しする児童